

第5期安芸地域アクションプランの 修正（予定項目）

安 芸 地 域 本 部
令和6年10月22日（火）

安芸地域アクションプランの修正(予定項目)

修正

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No. 8 海の駅東洋町を拠点とした地域振興	<p>今年8月に「道の駅」として国土交通省に登録され、10月9日には東洋町において「道の駅」の登録証伝達式と除幕式が行われた。</p> <p>今後は、「道の駅」として認知度を高めながら地域の活性化を図っていくため、地域アクションプランの名称を「海の駅」から「道の駅」へと修正する。</p>
2	<p>No.15 室戸市の観光資源を生かした交流人口の拡大・地域振興(室戸市)</p> <p>【実施主体】室戸市、(一社)室戸市観光協会、室戸ジオパーク推進協議会、(株)日本ドルフィンセンター、NPO 法人日本ウミガメ協議会、土佐備長炭窯元炭玄、民間事業者</p>	<p>室戸市の課題となっていた「お土産物の不足」に対応するため、産振アドバイザー制度を活用してお土産物の開発・販路拡大に取り組む事業者を公募したところ、2社(スカイアンドシー・ムロト、(株)East 水産)が当アクションプランに加わることとなったため、実施主体を修正する。</p> <p>また事業概要において、当初(仮)としていたプロジェクト名が正式に決定したため「室戸のおもたせ開発・発掘プロジェクト」に修正する。</p>

修正項目(案)

修正前

安芸地域アクションプラン

	分野	商工業
AP 名 (実施地域)	No. 8 海の駅東洋町を拠点とした地域振興 (東洋町)	
実施主体	東洋町、 指定管理者 ((株)FoundingBase)、生産者、地域団体	
AP への位置づけ	H21.4月	
事業概要	高知県の東の玄関口である東洋町の観光の窓口及び地元特産品の販売、飲食施設等の機能を持つ「海の駅東洋町」を核とした交流人口の拡大により、地域の活性化を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
誘客の促進	・「海の駅東洋町」の整備 (H20.1月) ・火災による焼失 (H24.7月) ・再建、運営開始 (H26.1月～) 産振補助金の活用 (H24～25) ・農林水産物直販所運営管理者及び安心係等発展講習会参加 (H29) ・駐車場などを活用したイベント誘致 ・高知6次産業化サポートセンターよりプランナー派遣 (R元～3) ・キャッシュレス対応 (R2) ・駅長の設置 (R3) ・地域活性化起業人制度の活用 (R4～) ・BBQ事業の開始 (R4) ・直販所交流 (R4～) ・指定管理による運営開始 (R5)	[成果] ・駅長 (責任者) の設置による運営体制の強化 ・地元の魚を使ったメニューやお惣菜の提供 ・売上高 R元:1.68億円 R2:1.35億円 R3:1.52億円 R4:1.86億円 ・入込客数 R元:175,666人 R2:140,231人 R3:155,477人 R4:169,520人 ・直販所交流 交流直販所数:31カ所 (R6.2月時点累計) ・観光窓口機能の充実
	・BBQ事業の開始、カツオの薫焼き体験の試行 (R4) ・東洋町の観光情報をスタッフ間で共有 (R4) ・グランピング施設の検討	[課題] ・認知度向上 ・集客強化 ・リピーターの確保 ・町内事業者 (出品者) との協力体制の構築 ・主力商品である魚の安定供給 ・町内事業者、地域団体との連携 ・白浜キャンプ場の活用

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)売上高	1.86億円 (R4)				3.25億円
(2)来場者数	169,520人 (R4)				200,000人

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
魅力的な店舗づくり 東洋町、指定管理者 ・店内レイアウトの工夫 ・ワークショップ・マルシェ等イベントの実施・誘致 ・SNSを活用した情報発信 ・町内外イベントへの出店 ・BBQ事業 ・店舗内商品の充実 県 (地域本部等) ・各種支援制度に関する情報提供 ・関係機関への橋渡し				
直販所交流 指定管理者 ・特産品の直販所交流による海の駅東洋町のPR ・店舗内商品数の充実 県 (地域本部等) ・各種支援制度に関する情報提供 ・関係機関への橋渡し				
新たな観光コンテンツの造成 東洋町、指定管理者 ・グランピング施設の整備 ・体験プログラムの造成 ・地域団体との連携 ・白浜キャンプ場の運営委託 県 (地域本部等) ・各種支援制度に関する情報提供 ・関係機関への橋渡し				
観光窓口機能の充実 指定管理者 ・(一社)東洋町観光振興協会との連携 県 (地域本部等) ・関係機関への橋渡し				

修正後

安芸地域アクションプラン

	分野	商工業
AP 名 (実施地域)	No. 8 道の駅東洋町を拠点とした地域振興 (東洋町)	
実施主体	東洋町、 指定管理者（(株)FoundingBase）、生産者、地域団体	
AP への位置づけ	H21.4月	
事業概要	高知県の東の玄関口である東洋町の観光の窓口及び地元特産品の販売、飲食施設等の機能を持つ「道の駅東洋町」を核とした交流人口の拡大により、地域の活性化を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
誘客の促進	・「道の駅東洋町」の整備（H20.1月） ・火災による焼失（H24.7月） ・再建、運営開始（H26.1月～） 産振補助金の活用（H24～25） ・農林水産物直販所運営管理者及び安心係等発展講習会参加（H29） ・駐車場などを活用したイベント誘致 ・高知6次産業化サポートセンターよりプランナー派遣（R元～3） ・キャッシュレス対応（R2） ・駅長の設置（R3） ・地域活性化起業人制度の活用（R4～） ・BBQ事業の開始（R4） ・直販所交流（R4～） ・指定管理による運営開始（R5）	[成果] ・駅長（責任者）の設置による運営体制の強化 ・地元の魚を使ったメニューやお惣菜の提供 ・売上高 R元:1.68億円 R2:1.35億円 R3:1.52億円 R4:1.86億円 ・入込客数 R元:175,666人 R2:140,231人 R3:155,477人 R4:169,520人 ・直販所交流 交流直販所数:31カ所（R6.2月時点累計） ・観光窓口機能の充実
	・BBQ事業の開始、カツオの薫焼き体験の試行（R4） ・東洋町の観光情報をスタッフ間で共有（R4） ・グランピング施設の検討	[課題] ・認知度向上 ・集客強化 ・リピーターの確保 ・町内事業者（出品者）との協力体制の構築 ・主力商品である魚の安定供給 ・町内事業者、地域団体との連携 ・白浜キャンプ場の活用

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)売上高	1.86億円 (R4)				3.25億円
(2)来場者数	169,520人 (R4)				200,000人

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
魅力的な店舗づくり 東洋町、指定管理者 ・店内レイアウトの工夫 ・ワークショップ・マルシェ等イベントの実施・誘致 ・SNSを活用した情報発信 ・町内外イベントへの出店 ・BBQ事業 ・店舗内商品の充実 県（地域本部等） ・各種支援制度に関する情報提供 ・関係機関への橋渡し				
直販所交流 指定管理者 ・特産品の直販所交流による道の駅東洋町のPR ・店舗内商品数の充実 県（地域本部等） ・各種支援制度に関する情報提供 ・関係機関への橋渡し				
新たな観光コンテンツの造成 東洋町、指定管理者 ・グランピング施設の整備 ・体験プログラムの造成 ・地域団体との連携 ・白浜キャンプ場の運営委託 県（地域本部等） ・各種支援制度に関する情報提供 ・関係機関への橋渡し				
観光窓口機能の充実 指定管理者 ・（一社）東洋町観光振興協会との連携 県（地域本部等） ・関係機関への橋渡し				

修正前

安芸地域アクションプラン

	分野	観光
AP 名 (実施地域)	No.15 室戸市の観光資源を生かした交流人口の拡大・地域振興 (室戸市)	
実施主体	室戸市、(一社)室戸市観光協会、室戸ジオパーク推進協議会、(株)日本ドルフィンセンター、NPO 法人日本ウミガメ協議会、土佐備長炭窯元炭玄、民間事業者	
AP への位置づけ	H21.4 月	
事業概要	世界ジオパークに認定された室戸ジオパークやむろと廃校水族館、海の駅とろむなどの観光資源の魅力度を高めるとともに、室戸市が有する自然や文化、施設等の「ウェルネス資源」を生かした持続可能な周遊・滞在型観光を推進し、交流人口の拡大を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
観光資源の 魅力向上	・日本ジオパークネットワーク認定（H20） ・世界ジオパークネットワーク認定（H23） ・接遇等各種ガイド研修の実施（H28～） ・海の駅とろむ飲食体験施設の再開（R4） ・室戸ドルフィンセンターのキッチントレーラー、海上アスレチック等導入（R3） 観光施設等緊急整備事業費補助金の活用 ・むろと廃校水族館の屋外プールへの日除設置（R2） 観光拠点等整備事業費補助金の活用 ・MUROTObase55 の屋外風呂、トイレ、テントサウナの整備（R3） 観光施設等緊急整備事業費補助金の活用 ・室戸岬観光拠点施設活用検討委員会設置（旧飛巖荘）（R5）	[成果] ・世界ジオパークネットワーク再認定（R6.1） ・むろと廃校水族館の来場者数がオープンから5年で60万人を突破(R5.9) [課題] ・施設間の連携による周遊型、滞在型観光への転換 ・体験メニューの開発・磨き上げ ・各施設の来館者数増 ・宿泊施設の不足 ・情報発信体制の構築 ・インバウンドの受入れ体制強化 ・シレストむろとの施設老朽化 ・旧ウトコホテルの活用 ・お土産品の不足
ウェルネスツーリズム・サステナブルツーリズムの推進	・室戸市ウェルネスシティ基本構想策定（R4） ・室戸市ウェルネスツーリズム推進計画策定（R5）	
お土産品の開発・販売拡大による外貨獲得		

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)室戸市主要施設訪問者数	505 千人 (R4)				900 千人
(2)ウェルネス関連の体験プログラム造成及び磨き上げ数	-				20 件 (R6～9 累計)

1 月～12 月

第 5 期計画における行程表					
事業概要	R6	R7	R8	R9	
施設整備・修繕、既存プログラム等のブラッシュアップ、対外的な PR 強化 指定管理者、民間事業者 ・新規プログラム開発、体験プログラムの磨き上げ、イベント等の実施、情報発信 室戸市、(一社)室戸市観光協会 ・施設整備・修繕、SNS を活用した各施設の魅力・周遊ルートの情報発信、ホームページ等を活用した情報発信の一元化、観光商談会への出展、多言語化を通じたインバウンドの受入れ体制強化、遊休施設の活用検討 県（地域本部等） ・情報発信支援、各種支援策の情報提供、産振アドバイザー活用の提案	体験プログラムの磨き上げ				
	施設整備（検討）				
	周遊体制の構築				
	効果的な情報発信				
	インバウンド対策				
室戸市ウェルネスツーリズム推進計画の推進 民間事業者 ・プログラムの開発、情報発信 室戸市 ・プログラムの造成・磨き上げに対する支援、ウェルネスプログラムに関する事業者向け説明会の開催、イベントの実施、ウェルネスツーリズム EXPO 等の催事への出展、計画の進捗管理、施設整備・改修（検討） 県（地域本部等） ・情報発信支援、各種支援策の情報提供、産振アドバイザー活用の提案	プログラムの造成、磨き上げ				
	プロモーション強化				
	施設整備・改修（検討）				
「室戸のおみやげ開発・発掘プロジェクト(仮)」の推進 民間事業者 ・お土産品の試作・販売、販路拡大 室戸市 ・事業者募集、開発・販路拡大等に対する支援 県（地域本部等） ・産振補助金の活用支援、情報発信支援、各種支援策の情報提供、関係機関への橋渡し	お土産開発・磨き上げ				
	市内観光施設での取扱開始				

修正後

安芸地域アクションプラン		分野	観光
AP 名 (実施地域)	No.15 室戸市の観光資源を生かした交流人口の拡大・地域振興 (室戸市)		
実施主体	室戸市、(一社)室戸市観光協会、室戸ジオパーク推進協議会、(株)日本ドルフィンセンター、NPO 法人日本ウミガメ協議会、土佐備長炭窯元炭玄、 <u>スカイアンドシー・ムロト</u> 、 <u>(株)East 水産</u> 、民間事業者		
AP への位置づけ	H21.4 月		
事業概要	世界ジオパークに認定された室戸ジオパークやむろと廃校水族館、海の駅とろむなどの観光資源の魅力度を高めるとともに、室戸市が有する自然や文化、施設等の「ウェルネス資源」を生かした持続可能な周遊・滞在型観光を推進し、交流人口の拡大を図る。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
観光資源の 魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ジオパークネットワーク認定（H20） ・世界ジオパークネットワーク認定（H23） ・接遇等各種ガイド研修の実施（H28～） ・海の駅とろむ飲食体験施設の再開（R4） ・室戸ドルフィンセンターのキッチントレーラー、海上アスレチック等導入（R3） 観光施設等緊急整備事業費補助金の活用 ・むろと廃校水族館の屋外プールへの日除設置（R2） 観光拠点等整備事業費補助金の活用 ・MUROTObase55 の屋外風呂、トイレ、テントサウナの整備（R3） 観光施設等緊急整備事業費補助金の活用 ・室戸岬観光拠点施設活用検討委員会設置（旧飛巖荘）（R5） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界ジオパークネットワーク再認定（R6.1） ・むろと廃校水族館の来場者数がオープンから 5 年で 60 万人を突破(R5.9) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設間の連携による周遊型、滞在型観光への転換
ウェルネスツーリズム・サステナブルツーリズムの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・室戸市ウェルネスシティ基本構想策定（R4） ・室戸市ウェルネスツーリズム推進計画策定（R5） 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験メニューの開発・磨き上げ ・各施設の来館者数増 ・宿泊施設の不足 ・情報発信体制の構築 ・インバウンドの受入れ体制強化 ・シレストむろとの施設老朽化 ・旧ウトコホテルの活用 ・お土産品の不足
お土産品の開発・販売拡大による外貨獲得		

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)室戸市主要施設訪問者数	505 千人 （R4）				900 千人
(2)ウェルネス関連の体験プログラム造成及び磨き上げ数	-				20 件 （R6～9 累計）
1 月～12 月					

第 5 期計画における行程表					
事業概要	R6	R7	R8	R9	
施設整備・修繕、既存プログラム等のブラッシュアップ、対外的な PR 強化 指定管理者、民間事業者 ・新規プログラム開発、体験プログラムの磨き上げ、イベント等の実施、情報発信 室戸市、（一社）室戸市観光協会 ・施設整備・修繕、SNS を活用した各施設の魅力・周遊ルートの情報発信、ホームページ等を活用した情報発信の一元化、観光商談会への出展、多言語化を通じたインバウンドの受入れ体制強化、遊休施設の活用検討 県（地域本部等） ・情報発信支援、各種支援策の情報提供、産振アドバイザー活用の提案					体験プログラムの磨き上げ
					施設整備（検討）
					周遊体制の構築
					効果的な情報発信
					インバウンド対策
室戸市ウェルネスツーリズム推進計画の推進 民間事業者 ・プログラムの開発、情報発信 室戸市 ・プログラムの造成・磨き上げに対する支援、ウェルネスプログラムに関する事業者向け説明会の開催、イベントの実施、ウェルネスツーリズム EXPO 等の催事への出展、計画の進捗管理、施設整備・改修（検討） 県（地域本部等） ・情報発信支援、各種支援策の情報提供、産振アドバイザー活用の提案					プログラムの造成、磨き上げ
					プロモーション強化
					施設整備・改修（検討）
<u>「室戸のおもたせ開発・発掘プロジェクト」の推進</u> 民間事業者 ・お土産品の試作・販売、販路拡大 室戸市 ・事業者募集、開発・販路拡大等に対する支援 県（地域本部等） ・産振補助金の活用支援、情報発信支援、各種支援策の情報提供、関係機関への橋渡し					お土産開発・磨き上げ
					市内観光施設での取扱開始